



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員数 538人

コメディカル 410人

医師 128人

管理栄養士紹介登録数 35人

《目次》

～近況報告－相模原地域の糖尿病診療について～

住友 秀孝先生……………Page1

第6回糖尿病予防講演会のお知らせ……………Page2

その他の研究会実施報告……………Page3

年間スケジュール・事務局よりお知らせ……………Page4

～近況報告－相模原地域の糖尿病診療について～

当研究会評議員 淵野辺総合病院 内分泌糖尿病科 住友 秀孝

2005年5月末日をもちまして、立川相互病院を退職しました。本年6月より、相模原市の淵野辺総合病院 内分泌糖尿病科に勤務しております。勤務開始2ヶ月目の近況などを書いてみたいと思います。

1. 相模原地区は、医療過疎地域です。診療地域人口は約80万人、相模原市自体は年間1万人ずつ増加しています。特に2次・3次救急施設は絶対的不足です。
2. 300床以上の病院は、横浜線－橋本駅横の相模原共同病院（糖尿病科常勤医師なし）、北里大学病院（救急部は多忙を極めている様です）、糖尿病内科の先生方も極めて多忙の様子です。あとは、町田市民病院のみです。（糖尿病科常勤の先生は先日やっと着任された様子です）
3. 北里大学病院以外の糖尿病学会専門医は数名（6名）です。うち開業されている専門医は4名で、外来患者様は完全飽和状態とのことです。
4. 当方の病院は、たったの180床です。教育入院が2年前より始まり、年間12回、1回6－8名の方が入院されます。主には開業の先生からの紹介です。開業されている非糖尿病専門医の糖尿病管理状況は多岐にわたりますが、よほどの状況が無い限り、強化インスリン療法＋SMBG導入にてお返ししています。大丈夫かなーと思いつつ御返事を書く、今日この頃です。
5. 横浜線と小田急線が停車する町田市も、人の流れからは相模原地域になります。市民の方々の糖尿病関心度は、15年前の立川地区の様子と酷似しています。要は、糖尿病・内分泌疾患の診療に地域の境界は無い事です。当方の自宅のある立川市と、自動車・電車（中央線＋横浜線で）ともにわずか50分です。町田市民病院や多摩丘陵病院とも医療連携が継続しています。多摩＋相模原地区の糖尿病診療の発展に、少しでもお役に立てることを願い本文を終わります。

追伸：11月3日に糖尿病スキルアップセミナー（医師向け）第2回が開催されます。先生方のリクエストにお答えできるような内容を都立府中病院 西田先生、緑成会病院（小平市）調先生、片山内科クリニック（狛江市）片山先生ともに考えていく所存です。

ご希望が有りましたら、ぜひ当会事務局へ TEL：042-322-7468



第6回糖尿病予防講演会開催のお知らせ

日 時 : 平成15年9月17日(土) 14:30~17:40

場 所 : パルテノン多摩 大ホール(多摩センター駅下車 徒歩5分)

共 催 : 東京都糖尿病協会 キッセイ薬品工業(株) ニプロ(株)

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 1単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位: 0.5単位

一般向けの講演会です。会員各施設の患者様にも、どうぞご案内くださいませ。

[プログラム]

総合司会 東京医科大学八王子医療センター 助教授 大野 敦

開会の辞 14:30~14:40 NPO法人西東京臨床糖尿病研究会理事長
公立昭和病院 病棟部長 貴田岡 正史

挨拶 14:40~14:50 東京都糖尿病協会会長 田和 允宏

第6回糖尿病予防講演会実行委員長からの挨拶 14:50~15:10

テーマ「薬で治す? 自分で治す?」 第6回糖尿病予防講演会実行委員長
東京医科大学八王子医療センター 教授 植木 彬夫

第1部 パネルディスカッション

『自分で何ができるか一緒に考えよう』 15:10~16:30
座 長 東京医科大学八王子医療センター
助教授 大野 敦

I 運動療法するならポイントはここ 生活習慣病医学研究所 運動療法室室長
健康運動指導士 天川 淑宏

II 食事療法ならポイントはここ 日野福祉研究会
管理栄養士 緒方 京子

III 薬を減らすならポイントはここ 緑成会病院 内科部長 調 進一郎

IV 継続は力なり、でも難しい 東京医科大学八王子医療センター
看護師 山本 亜希子

休 憩 16:30~16:40

第2部 特別講演 『すべての始まりは肥満から』 16:40~17:30

座 長 調布東山病院 院長 戸塚 康男

演 者 東京逋信病院 内科部長 宮崎 滋

閉会の辞 17:30~17:40 近藤医院 院長 近藤甲斐夫

研究会他の実施報告

第13回多摩糖尿病チーム医療研究会 薬剤師分科会

平成17年6月24日(金)国分寺Lホールに於いて開催されました。

第一部は、医療機器メーカーより、法令改正に伴う簡易血糖測定器の扱いに関して、市販されている簡易血糖測定器の紹介も含めてご紹介して頂きました。

第二部は、緑風荘病院 検査室長 宮沢千鶴子先生より薬剤師が知っておかなければならない糖尿病に関する検査についてご講演頂きました。

第三部は、緑風荘病院 山崎篤司先生より症例検討を行いました。高齢者のインシュリン自己注射管理の問題点を「介護者がいる場合の一例」「独居者の場合の一例」で行いました。

コメンテーターには緑成会病院 内科部長 調進一郎 先生をお招きし、参加者全員のグループディスカッション形式で症例を検討致しました。グループでの熱心な話し合いの後、全体での意見交換が活発に行われ、ポイントごとに調先生より症例を様々な角度から考えて、薬物療法及び薬剤師としての患者への接し方、医療のあり方を御講演頂きました。



第18回多摩糖尿病チーム医療研究会

平成17年7月7日(木) 国分寺Lホールに於いて開催されました。

今回のテーマは「電子カルテを利用した糖尿病のチーム医療における情報共有」と題し、東京都立府中病院での取り組みを発表して頂きました。内科医長の西田賢司先生、看護師の石川智美先生、薬剤師の片桐吉世先生、管理栄養士の青山有紀先生にそれぞれの立場でのご講演を頂きました。

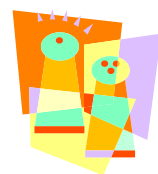
電子カルテの実際の使用状況やメリット・デメリット、また今後の課題等についてお話されました。共通意見としては、情報を共有することで他職種と連携が容易になり、チーム医療への参加が活発になったとのことでした。最後にはパネルディスカッション形式で活発な討論が行われ、参加者は熱心に勉強されました。

第33回多摩北部医療センターとの糖尿病に関する診療連携の会

平成17年7月11日(金)多摩北部医療センターに於いて開催されました。

当日は31名の方に御参加をいただきありがとうございました。

高橋内科クリニック高橋英二先生より「民間療法の再検討 ～シナモンを中心に～」という題目で、シナモンを内服して、血糖降下作用を認めた興味深い症例を提示していただきました。また、清瀬内科クリニック田中英樹先生より「コントロール不良の糖尿病の症例」について提示していただき、様々な職種の方から活発な意見や本音が飛び交いました。





年間スケジュール

◇第6回 糖尿病予防講演会 (詳細2ページ)

※事前申込みは不要です。直接会場までお越しください。

開催日 : 平成17年9月17日(土) 14:30~17:40
 場所 : パルテノン多摩 大ホール (多摩センター駅から徒歩5分)
 参加費 : 無料
 プログラム : 特別講演 『すべての始まりは肥満から』

演者 東京通信病院内科部長 宮崎 滋先生 他

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 1単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 0.5単位

◇平成17年度 西東京糖尿病療養指導士養成講座 (旧名称 連続12回講座)

※事前申込みが必要です。事前申込みのない当日参加不可。

開催日 : 平成17年9月22日(木)~12月13日(火)の間13回実施
 場所 : 立川女性総合センターアイム (立川駅から徒歩5分)
 参加費 : 15,000円
 定員 : **たくさんのお申し込み誠にありがとうございました。
 お陰様をもちまして定員に達しましたので申し込みを
 締め切らせていただきました。**

講座1回につき ※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 1単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 0.5単位

◇第38回 NP0法人 西東京臨床糖尿病研究会例会

※事前申込みは不要です。直接会場までお越しください。

開催日 : 平成17年10月1日(土)
 場所 : 国分寺Lホール (国分寺ターミナルビル8F)
 参加費 : 会員 無料、非会員 1,000円
 プログラム : 特別講演 I 「臨床病期に応じた糖尿病診療—SDMの到達点」

日本糖尿病療養指導士認定機構 理事長 済生会渋谷診療所 所長 松岡 健平

特別講演 II 「地域連携とSDM—わかしおネットワークの経験から」

千葉県立東金病院 院長 平井 愛山

※西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 6単位

※日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位《二群》: 申請中

<事務局よりお知らせ>

◆先月号巻頭ページでお知らせいたしました

「小平市市民健康フェスティバル」は

2005年11月6日(日)から**2005年11月13日(日)**に日程が変更になりました。



◆毎月第一木曜日 午前10時~午後3時まで当研究会登録管理栄養士による電話ファックス・メールでの無料栄養相談を行っています。会員様施設の患者様にお知らせください
 ますよう、ご協力の程お願い申し上げます。

NP0法人 西東京臨床糖尿病研究会 栄養相談窓口

TEL/FAX:042-322-7517 Email:eiyououdan@nishitokyo-dm.net

NP0法人 西東京臨床糖尿病研究会

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリントプラザ 402 TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478

http://www.nishitokyo-dm.net E-mail:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp